



「沖縄慰霊の日」



沖縄県が本土に復帰したのは1972年5月15日。今年2022年は、アメリカから施政権が返還されて50年の節目にあたります。

太平洋戦争末期の1945年3月26日に、連合軍は日本本土攻略のため、沖縄本島への上陸作戦を開始しました。使用された銃弾・砲弾の数は、連合国軍側だけで2716691発。このほか、手榴弾392304発、ロケット弾20359発、機関銃弾3000万発弱が発射され、沖縄本島は地形が変わってしまうほどでした。

沖縄戦が歴史的な惨事となってしまったのは、民間人を巻き込んだ戦闘であったところにあります。日本人・連合軍合わせての死者は200000人余り。その内、沖縄県内の女性・子どもを含めた民間人の死者は、94000人を超えました。この中には一般住民が集団で自殺する行為(集団自決)によって亡くなった方も含まれています。

この想像を絶する残酷で恐ろしい戦闘が終わったのが、1945年6月23日です。

本校ではこの「慰霊の日」に合わせて、全学年で反戦・平和の読み聞かせを実施しています。終戦から77年経った今、戦争の事実とその記憶が年々薄れてしまっているように感じます。戦争を憎み平和を尊ぶこの気持ちを、私たちはこれから先の時代へ伝承していかねばなりません。

熱中症予防について

熱中症が心配される季節となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今後も基本的にはマスクを着用する生活となりますが、熱中症の危険がさらに高まる恐れがあります。学校内ではエアコンを活用したり、体育の授業や、休み時間の外での活動、または登下校時においても、息苦しくなる前にマスクをはずすよう指導しています。その際には周りの人との間隔をとり、会話を控えるなど、感染対策をしっかりとってほしいと思います。

その他の熱中症対策として、運動場にミストシャワー付きのテントを常設し、子どもたちが運動や遊びの合間に、クールダウンできるようにしてあります。また、運動場と体育館にWBGT計測器を置き、温度・湿度が基準の数値を超えた場合には、体育の授業や、業間・昼休みの外での活動を中止するようにしています。

さらに、ご家庭におかれましても、下記の事項にご協力をお願いいたします。

1、「登校前の健康観察」

体調が悪いと体温調節能力が低下し、熱中症を発症しやすくなります。疲労・発熱・下痢など、体調不良の際には学級担任に連絡ください。

2、「十分な水分を準備」

必要な水分量には個人差があります。不足することのないように持たせてあげてください。水筒の中身は「お茶」でいいですが、必要であれば二本目からはスポーツ飲料でもけっこうです。

3、「睡眠と栄養」

睡眠不足は疲労の蓄積・集中力の低下などにより、ケガの原因となるだけでなく、熱中症を引き起こしやすくなります。十分な睡眠をとってください。また、朝食をしっかりとることで、水分・塩分補給ができます。朝食はご家庭で取り組める最も効果的な熱中症対策です。



ミストシャワー付テント



WBGT 計測器



保護者の皆様へのお願い



コロナウイルスの感染拡大状況は、こここのところ減少傾向にあります。学校行事についても、できる限りの規制緩和を図り、従来の活動に近い形に戻していこうとしています。

しかしながら、感染が収束したとは、まだまだ言えない状態です。今後も授業参観や運動会などの行事について、参加いただく保護者の方の人数や時間を制限しながら行う必要があります。ご理解いただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

